



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

令和5年12月第1回市長定例記者会見

- ・日時 令和5年12月12日(火)
午後1時
- ・場所 市役所本庁舎記者会見室

- 1 物価高騰対策緊急生活支援事業による給付金の支給を12月27日(水)から開始します(資料1)
- 2 高病原性鳥インフルエンザの緊急防疫対策を実施します(資料2)
- 3 渋川市消防団のInstagramの運用を開始します(資料3)
- 4 地域の命を守る体制づくり委員会の報告会を開催します(資料4)
- 5 「(仮称) 渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の制定に係る市民意見公募を実施します(資料5)
- 6 JR八木原駅の利用者に西側駅前広場整備に関するアンケートを実施します(資料6)
- 7 渋川山車まつり写真コンテスト入選作品の展示会を開催します(資料7)

その他資料提供

- ・渋川市国際交流協会主催の「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します(資料8)

○次回開催予定

日時：令和5年12月18日(月) 午後1時～
場所：本庁舎記者会見室

市 長 の 主 な 週 間 日 程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
12月11日(月)	10:00	予算常任委員会	市役所本庁舎	議会事務局
12月12日(火)	13:00	市長定例記者会見	市役所本庁舎	政策戦略課
	16:00	JA北群渋川及びJA赤城たちばなから物価高騰に係る要望書の提出	市役所本庁舎	農政課
12月13日(水)	10:00	12月市議会定例会：表決、閉会	議場	議会事務局
12月14日(木)	13:30 15:30	連合群馬北部地域協議会2023政策・制度要求と提言 令和6年度予算第2回予算編成会議	市役所本庁舎 市役所本庁舎	商工振興課 財政課
12月15日(金)	13:30	令和5年度渋川市戦没者追悼式	市民会館大ホール	地域包括ケア課
12月16日(土)				
12月17日(日)	10:00	中村自治会敬老と趣味の集い大会	中村会館	市民協働推進課
	13:30	有馬自治会・有馬しめ縄作り保存会 しめ縄講習会	有馬会館	市民協働推進課
12月18日(月)	9:00 終了後	庁議 令和5年度第2回渋川市DX推進本部会議	市役所本庁舎 市役所本庁舎	政策戦略課 DX・行政管理課
	13:00 14:30	市長定例記者会見 防犯パトロール出発式	市役所本庁舎 渋川警察署	政策戦略課 危機管理室

資料1

物価高騰対策緊急生活支援事業による給付金の支給を 12月27日(水)から開始します

渋川市は、国が示した低所得世帯への支援に基づいて、物価高騰により生活への影響が大きい低所得世帯の生活を守るため、給付金の支給を12月27日(水)から開始します。

1 概 要

渋川市は、国が示した低所得世帯への支援に基づき、低所得世帯への物価高騰対策緊急生活支援事業を実施し、生活支援を目的に給付金を支給します。

2 対 象

基準日(令和5年12月1日)において、渋川市の住民基本台帳に登録されている令和5年度住民税非課税世帯

※上記の要件に該当しても、世帯全員が住民税課税者に扶養されている場合などは対象外です

3 対象世帯数 8,500世帯(見込み)

4 給付金額 1世帯当たり7万円(1回限り)

5 手続方法

令和5年度に実施した給付金(1世帯当たり3万円)を受給している世帯には、振込口座等が記載された案内ハガキを、令和5年12月中旬ごろに送付します。原則手続き不要です。

なお、下記の例に該当する場合は、令和6年1月以降に手続きが必要です。

- (1) 案内ハガキが送付されたが振込ができなかった世帯
- (2) 世帯主の口座情報が不明の世帯
- (3) 世帯主を変更、新たに世帯員が転入したなど、異動があった世帯
- (4) 税額変更により住民税が非課税になった世帯 など

6 手続期限 令和6年2月29日(木) ※必着

7 給付時期 第1回振込日：令和5年12月27日(水)

8 予 算 額 物価高騰対策緊急生活支援事業 6億409万5千円
※内訳：給付費(対象見込8,500世帯×7万円＝5億9,500万円)
その他、郵便料、電算業務委託料等の事務経費
※令和5年度一般会計補正予算で措置済

9 周知方法 広報しぶかわ、市ホームページへの掲載

10 事業スケジュール

- ・令和5年12月中旬ごろ 案内ハガキの発送
- ・令和5年12月27日(水) 第1回振込
- ・令和6年1月中旬ごろ 確認書の発送、確認書や申請書等の受付開始
※以降、手続受付及び振込処理を順次実施
- ・令和6年2月29日(木) 受付終了(必着)

11 その他

給付に関する問い合わせは、地域包括ケア課給付金担当（電話0279-25-8412）で受け付けます。

■問い合わせ先

福祉部 部長 山田 由里（内線1200）

担当：地域包括ケア課（電話0279-22-2250）

課長 西脇 正悟（内線1210）

管理係長 福島 敬（内線1226）

高病原性鳥インフルエンザの緊急防疫対策を実施します

群馬県知事から県内の家きん所有者に対して、緊急的な高病原性鳥インフルエンザの発生予防のための消毒が命じられたことや、国内の養鶏場等において高病原性鳥インフルエンザの患畜等（疑似患畜含む）が相次いで確認されていることを受け、緊急防疫対策として、渋川市内の養鶏農場等に消石灰を配付します。

1 概 要

令和5年11月28日（火）、群馬県知事から県内の家きん所有者に対して農場消毒実施命令が告示されました。

また、茨城県や埼玉県など近県の養鶏場での高病原性鳥インフルエンザの患畜等が確認されています。

これを受け、渋川市は、市内の養鶏場等に飼養衛生管理基準の再確認及び遵守を依頼するとともに、緊急防疫対策として消石灰及び消毒薬を無償で配付します。

2 配布対象者及び配布物

市内に家きんの農場（小規模農場を除く）を所有する事業者に対して、1事業者当たり消石灰1袋（20kg）及び消毒薬1個（18リットル）を配布予定。

※小規模農場は、飼養羽数が100羽未満の農場などです

3 配布予定時期 令和5年12月中旬～下旬

4 市内の家きん飼養状況

令和5年2月1日現在、市内13農場において約280万羽の鶏等が飼養されています。

参考

渋川市における過去の高病原性鳥インフルエンザの緊急防疫対策実施状況

- （1）令和4年12月20日 消石灰配布：希望農場13件・合計260袋
- （2）令和5年1月24日 消石灰配布：希望農場11件・合計210袋

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭（内線4899）

担当：農政課（電話0279-22-2593）

課長 山本 泰浩（内線4971）

振興係長 中野 智也（内線4972）

渋川市消防団のInstagramの運用を開始します

渋川市は、市消防団の活動紹介及び若者の入団促進のため、令和5年12月26日(火)から渋川市消防団の公式Instagramアカウントを導入します。

1 内 容

消防団員は、会社員や自営業など仕事をしながら、いざ火災が発生すると、すぐに消防車に乗って現場へ駆け付け、「自分たちのまちは自分たちで守る」という信念のもと、地域住民を守るため、日々、活動をしています。

また、消火活動だけではなく、地域行事への参加や防火広報など、消防団の仕事は多岐にわたり、地域にとって非常に重要な役割を担っています。

しかし、近年、消防団員の数が激減しており全国的な問題となっています。渋川市においても、定員に満たない状況です。

また、消防団員の高齢化が進み、平均年齢も徐々に上がってきており、将来の担い手となる若者の入団が強く期待されています。

そこで、渋川市消防団は、若い世代が多く利用しているInstagramに着目し、渋川市消防団歳末特別警戒の実施日に合わせて、渋川市消防団専用のInstagramの運用を開始します。

このInstagramで、渋川市消防団の日頃の訓練・地域行事への参加の様子などを写真や動画付きで掲載することで、消防団の活動を分かりやすく理解いただくと同時に若者の入団促進を図ります。

2 運用開始日 令和5年12月26日(火) ※渋川市消防団歳末特別警戒の実施日

3 アカウント情報

- (1) サービス名 インスタグラム (Instagram)
- (2) アカウント名 渋川市消防団【公式】
- (3) URL https://www.instagram.com/shibukawa_syouboudan

4 運用ポリシー

Instagramを通じた情報発信に当たり、閲覧者の皆さんに誤解や混乱を招かないよう「渋川市消防団公式Instagramアカウント運用ポリシー」を定めました。

5 今後の予定

今後の運用では、広報活動を担当している渋川市消防団女性消防隊が、積極的に渋川市消防団に関する取材を行い、随時投稿を行っていきます。

6 その他

県内で市町村消防団専用のInstagramの運用を行うのは、前橋市に続き2番目です。

参考

渋川市消防団の団員数

- (1) 令和3年度：定員652人／団員592人
- (2) 令和4年度：定員662人／団員585人
- (3) 令和5年度：定員662人／団員586人（令和5年12月1日現在）

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

消防係長 萩原 良和（内線2183）

渋川市消防団公式 Instagram アカウント運用ポリシー

1 はじめに

渋川市消防団では、より一層の広報活動の充実の拡大を図るため Instagram アカウントを取得し、情報発信を進めてまいります。Instagram を通じた情報発信にあたり、利用者の皆さんに誤解や混乱を生まないよう、当アカウントの運用方針を以下の通り定めます。

2 情報発信の目的

渋川市消防団の行事や団員を紹介し、消防団の魅力を発信します。

3 アカウント情報

- (1) ソーシャルメディアサービス名：Instagram
- (2) アカウント名：@shibukawa_syouboudan
- (3) アカウントURL：https://www.instagram.com/shibukawa_syouboudan

4 掲載内容

- (1) 消防団のイベント情報
- (2) 消防車両や資機材等の紹介
- (3) 消防団・消防団員等の紹介
- (4) その他消防団に親しみを持ってもらうための投稿など

5 発信時間帯

随時投稿します。

6 投稿者

渋川市消防団員

ただし、投稿内容は事前に消防団事務局（渋川市情報防災部危機管理室）で確認し、投稿します。

7 著作権・免責事項

原則として、当 Instagram に掲載している情報（文章、写真、動画、イラストなど）の著作権は渋川市消防団または原作者に帰属します。また、掲載されている情報を利用したことにより、利用者又は第三者が被った損害について、一切の責任を負いません。

8 注意事項

原則として当アカウントは利用者からのコメントやダイレクトメッセージに対しては、対応いたしませんので、あらかじめご了承ください。なお、ご意見等は、渋川市公式ホームページから情報防災部危機管理室消防係に直接お問い合わせくださいますようお願いいたします。

また、Instagram の利用について、予告なしに利用を中止し、プロフィールや名前、お知らせ内容の変更や削除、アカウントそのものを削除することがあります。

※このアカウント運用ポリシーは、事前の連絡なく変更する場合があります。

地域の命を守る体制づくり委員会の報告会を開催します

令和5年度に「地域の命を守る体制づくり委員会」の災害対策運営部会、避難の体制づくり検討部会、避難所部会の各部会が、訓練及び議論を重ねてきた結果を報告し、次年度に向けての取り組みについて検討する報告会を開催します。

1 概 要

地球温暖化による気象災害の激甚化に備え、渋川市は令和4年度から「地域の命を守る体制づくり委員会」を設置し、地域の命を守る体制づくりに着手しています。

この「地域の命を守る体制づくり委員会」は、庁内各部署や自治会長、自主防災組織、関係機関の人たちが参加し、災害対策運営部会、避難の体制づくり検討部会、避難所部会の3部会に分けて活動を行いました。

今回、令和5年度に各部会が訓練及び議論を重ねてきた結果を報告し、次年度に向けての取り組みについて検討する報告会を開催します。

2 日 時 令和5年12月19日(火) 午後2時30分～4時

3 場 所 渋川市役所本庁舎3階 大会議室

4 各部会からの報告概要

(1) 災害対策運営部会

実践力を養うために「シナリオ非公開型実動訓練」を9月2日に実施しました。

ア 職員自らが、自分たちの実力を見据え、弱みを浮き彫りにさせるシナリオを作成しました。

イ 住民の人たちには、避難する意識を深く刻み込むためエリアメールをきっかけに避難所へ避難していただく避難訓練も同時に実施しました。

ウ 渋川警察、渋川広域消防、陸上自衛隊、渋川行政県税事務所、渋川市アマチュア無線非常通信協議会などの関係機関との連携確認をしました。

エ 物資輸送マニュアルを作成しました。

(2) 避難の体制づくり検討部会

「地域の命を守る避難タイムライン」の作成(4カ年計画で市内の全自治会(105)を対象とする2年目)

ア 今年度は子持地区、伊香保地区、金島地区の30自治会で実施しました。

イ 各自治会の役員、児童民生委員、女性防火クラブ、消防団、自主防災リーダーなどの地域の防災に携わる人たちが参加し、各自治会単位で実施しました。

ウ 検討事項は、①災害発生を見据えた課題、②課題への地域の社会情勢を踏まえた対策の検討、③各家庭へ災害に備え命を守る対策を示した冊子の作成で、3回に分けて検討しました。

エ 災害発生時の各機関の動きなどの認識共有も実施しました。

(3) 避難所部会

災害発生時に各学校施設を避難所として活用する地域防災計画を踏まえ、施設管理者と、どの範囲まで避難のために使えるのか、どのような施設が使用できるのか、感染症対策などについて調整し避難所のレイアウトを作成しました。

ア 今年度は、古巻小学校、古巻中学校、津久田小学校、赤城北中学校、小野上小学校の5校のレイアウトを作成しました。

イ 9月2日の実動訓練に合わせて、古巻小学校、古巻中学校、津久田小学校、赤城北中学校で避難所開設訓練を実施し、今年度作成した避難所レイアウトの検証を行いました。

5 次年度の取り組み

- (1) 災害対応への勉強会を行います。
- (2) 今年と同様規模の実動訓練を行います。
- (3) 地域の命を守る避難タイムラインの作成を行います。対象地区は、渋川東部地区、渋川西部地区、渋川豊秋地区の29自治会です。
- (4) 各指定避難所使用時のレイアウト作成（5箇所程度）を行います。

6 今後のスケジュール

12月			1月			2月			3月			4月		
上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
	第2回委員会（報告）		地域防災計画庁内意見照会		意見集約	意見回答	修正案作成			防災会議委員意見照会		意見集約	防災計画最終案作成	防災会議

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：危機管理室（電話0279-22-2130）

室長 野中 文子（内線2180）

危機管理係長 兵藤 正和（内線2185）

「(仮称) 渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の制定に係る市民意見公募を実施します

「(仮称) 渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」の制定に当たり、市民の皆さんの意見を幅広く条例に反映させるため、12月18日(月)から1月17日(水)の間、条例案に対する市民意見公募を実施します。

1 条例の概要

「(仮称) 渋川市男女共同参画及び多様性を尊重する社会を推進する条例」は、男女共同参画社会の形成の促進に関する施策の取り組みの強化と、多様な性への理解の促進を重点的に推進するもので、全ての人がお互いの人権や尊厳を大切にし、多様な個人を認め合う共生社会の実現への寄与を目的としています。

2 条例案の閲覧と意見の募集期間

令和5年12月18日(月)～令和6年1月17日(水)

3 閲覧場所【閲覧時間】

- (1) 渋川市公式ホームページ【24時間】
- (2) 渋川市役所本庁舎(1階市民ホール前、DX・行政管理課)、第二庁舎(2階入口)、各行政センター【閉庁日を除く午前8時30分～午後5時15分】

4 意見提出方法

意見を記入した所定の様式は、次のいずれかの方法で提出してください。

- (1) 持 参 : DX・行政管理課又は各行政センター
- (2) 郵 送 : 〒377-8501 渋川市石原80番地 渋川市DX・行政管理課 宛
- (3) F A X : 0279-24-6541
- (4) Eメール : op-kyousei@city.shibukawa.gunma.jp

※所定の様式は、条例案の閲覧場所と市ホームページにあります

5 結果報告

提出された意見に対する市の考え方をホームページなどに掲載します。

なお、意見以外の個人情報などは公表しません。また、意見に対する個別の回答は行いません。

6 その他

県内において同様の条例を制定しているのは、前橋市、館林市、高崎市の3市です。

■問い合わせ先

情報防災部 部長 萩原 義人（内線2105）

担当：D X・行政管理課（電話0279-22-2396）

課長 小林 悟（内線2450）

管理係長 萩原 健（内線2440）

J R八木原駅の利用者に 西側駅前広場整備に関するアンケートを実施します

渋川市は、J R八木原駅周辺整備事業における駅前広場の設計を進めるに当たり、送迎用駐車場のレイアウトに関する意見を聴取するため、実際に八木原駅を車で送迎に利用している人を対象としたアンケートを実施します。

1 概 要

八木原駅周辺整備事業において、送迎車両による交通渋滞の緩和を目的として、西側駅前にロータリーを整備する計画としています。より使いやすい整備を行うため、実際に八木原駅を車で送迎利用している人を対象に、送迎用駐車場のレイアウト案についての意見を伺うアンケート調査を実施します。

2 調査期間

- (1) アンケート用紙配布期間 令和5年12月18日(月)～20日(水)
午前6時～8時、午後5時～7時
- (2) アンケート用紙回収期間 令和5年12月18日(月)～令和6年1月12日(金)

3 調査方法

アンケート用紙配布期間に、渋川市の職員が八木原駅を車で送迎利用している運転手にアンケートを配付します。

記入後のアンケート用紙は、東日本旅客鉄道(株)高崎支社の協力により、駅舎内に設置するアンケート回収箱に投函してもらいます。

4 アンケート内容

- (1) 利用者のお住まいの市町村
- (2) 利用の目的
- (3) 駅の東西どちらからの利用か
- (4) 利用頻度
- (5) 使いやすいと思う整備案

5 アンケート結果の活用

今回のアンケート結果は、八木原駅前広場整備の詳細プランの作成に役立てます。

■問い合わせ先

建設交通部 部長 柴崎 憲一(内線4700)

担当：交通政策課(電話0279-22-2264)

課長 柴田 宏(内線4781)

八木原駅周辺整備推進係長 高橋 巧(内線4789)

17
18

19
20

21
22

23
24

25
26

27
28

29
30

渋川山車まつり写真コンテスト入選作品の 展示会を開催します

今年、5年ぶりに開催された渋川山車まつりの写真を募集した写真コンテストの入選作品16点を、渋川市役所本庁舎市民ホールで展示します。

1 概 要

今年、5年ぶりに開催された、渋川山車まつりの写真を募集した「渋川山車まつり写真コンテスト」の応募作品190点の中から、入選作品16点の展示会を開催します。

- 2 期 間 令和5年12月14日(木)～27日(水) 午前8時30分～午後5時
※土・日曜日を除く
※最終日(12月27日(水))は午後3時まで

- 3 会 場 渋川市役所本庁舎1階 市民ホール

- 4 入 選 者 別紙入選者一覧のとおり

- 5 主 催 群馬県写真材料商組合渋川支部

6 そ の 他

入選作品は、次回渋川山車まつりのポスター候補となります。

■問い合わせ先

産業観光部 部長 金井 裕昭(内線4899)

担当：観光課(電話0279-22-2873)

課長 関口 礼二(内線4880)

観光振興係長 藤井 隆(内線4881)

参考

令和5年渋川山車まつり写真コンテスト入選者一覧

No.	賞	名前	題名
1	実行委員長賞	篠原 朝夫	それー！
2	渋川市長賞	田中 新一	下之町の山車
3	市議会議長賞	榎本 晃	渋川山車勢いがすべて
4	商工会議所会頭賞	秋山 正則	だしのかなめ
5	県写材商組合長賞	黒沢 伸二	駆ける
6	写材商渋川支部長賞	石坂 倫子	祭りだー！！
7	入選	近藤 義明	ゆくぞ八幡のぼり
8	入選	都丸 恵	出会い頭
9	入選	佐々木 勲	小粋な姐さん 山車を引く
10	入選	金井 孝	祭り前の一休み
11	入選	井野 次郎	まちに待った祭り
12	佳作	野村 凜旺	一心同体
13	佳作	吉田 希望	祭りの花形
14	佳作	植木 裕	祭囃子が聞こえる
15	佳作	角田 侃男	雨想定内
16	佳作	石田 充俊	華々しく

■実行委員長賞 篠原 朝夫さん「それー！」



渋川市国際交流協会主催の 「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します

渋川市国際交流協会は、市民レベルで外国人との交流を深めるため、在住外国人との交流会として、1月21日(日)に「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します。

1 目 的

多文化共生社会実現に向けて、市民レベルで外国人との交流を深めるため、在住外国人との交流会として、「新年の集いーNew Year Partyー」を開催します。

交流会では、参加者同士で楽しめるゲームや立食ランチ、参加者によるステージ発表を実施し、多くの人に国際交流の場を提供します。

2 日 時 令和6年1月21日(日) 午前11時～午後2時

3 会 場 渋川市中央公民館 ホール(渋川市渋川908-21)

4 内 容

- (1) 参加者全員が楽しめるゲーム
- (2) 立食ランチ
- (3) アトラクション(参加者によるステージ発表)

5 参加対象者

- (1) 一般人(非国際交流協会員)
- (2) 国際交流協会員
- (3) 外国人
- (4) 国際交流協会ボランティアスタッフ
- (5) 本事業の趣旨に賛同した一般ボランティアスタッフ

6 定 員 50人(先着順)

7 参 加 費

- (1) 一般人(高校生以上)=800円
- (2) 国際交流協会員(高校生以上)=500円
- (3) 外国人(家族含む)、一般ボランティアスタッフ=500円
- (4) 中学生、小学生、国際交流協会ボランティアスタッフ=300円
- (5) 未就学児=無料

※参加費は、食材費の一部として徴収します。

8 参加申込方法

氏名、住所、電話番号、国籍、ステージ発表希望の有無を電話またはメールで申し込みください。

9 申込先 渋川市国際交流協会事務局（市役所D X・行政管理課内）
電 話：0279-22-2396
メール：sia-shibukawa@city.shibukawa.gunma.jp

10 申込期間 令和5年12月8日（金）～22日（金）
※申込みをしていないと参加できない可能性があります
必ず事前に申し込みください

11 その他 動きやすい服装で参加してください

参考

過年度の実施状況（過去3回分）

（1）平成30年度

- ア 実施日時：平成31年1月26日（土） 午前10時30分～午後2時
- イ 実施会場：渋川公民館講堂及び渋川市役所第二庁舎もみじサロン
- ウ 参加人数：98人（うち外国人参加者49人）

（2）令和元年度

- ア 実施日時：令和2年2月1日（土） 午前10時30分～午後2時
- イ 実施会場：渋川公民館講堂及び渋川市役所第二庁舎もみじサロン
- ウ 参加人数：111人（うち外国人参加者55人）
- エ 備 考：多文化共生社会を目指した交流会として2月に実施

（3）令和4年度

- ア 実施日時：令和4年11月6日（日） 午前10時30分～午前11時50分
- イ 実施会場：渋川市社会福祉センター（渋川市ほっとプラザ）4階大会議室
- ウ 参加人数：26人（うち外国人参加者5名）
- エ 備 考：多文化共生社会を目指した交流会として11月に実施

■問い合わせ先

渋川市国際交流協会
事務局長（情報防災部長） 萩原 義人（内線2105）
担当：D X・行政管理課（電話0279-22-2396）
課長 小林 悟（内線2450）
管理係長 萩原 健（内線2440）